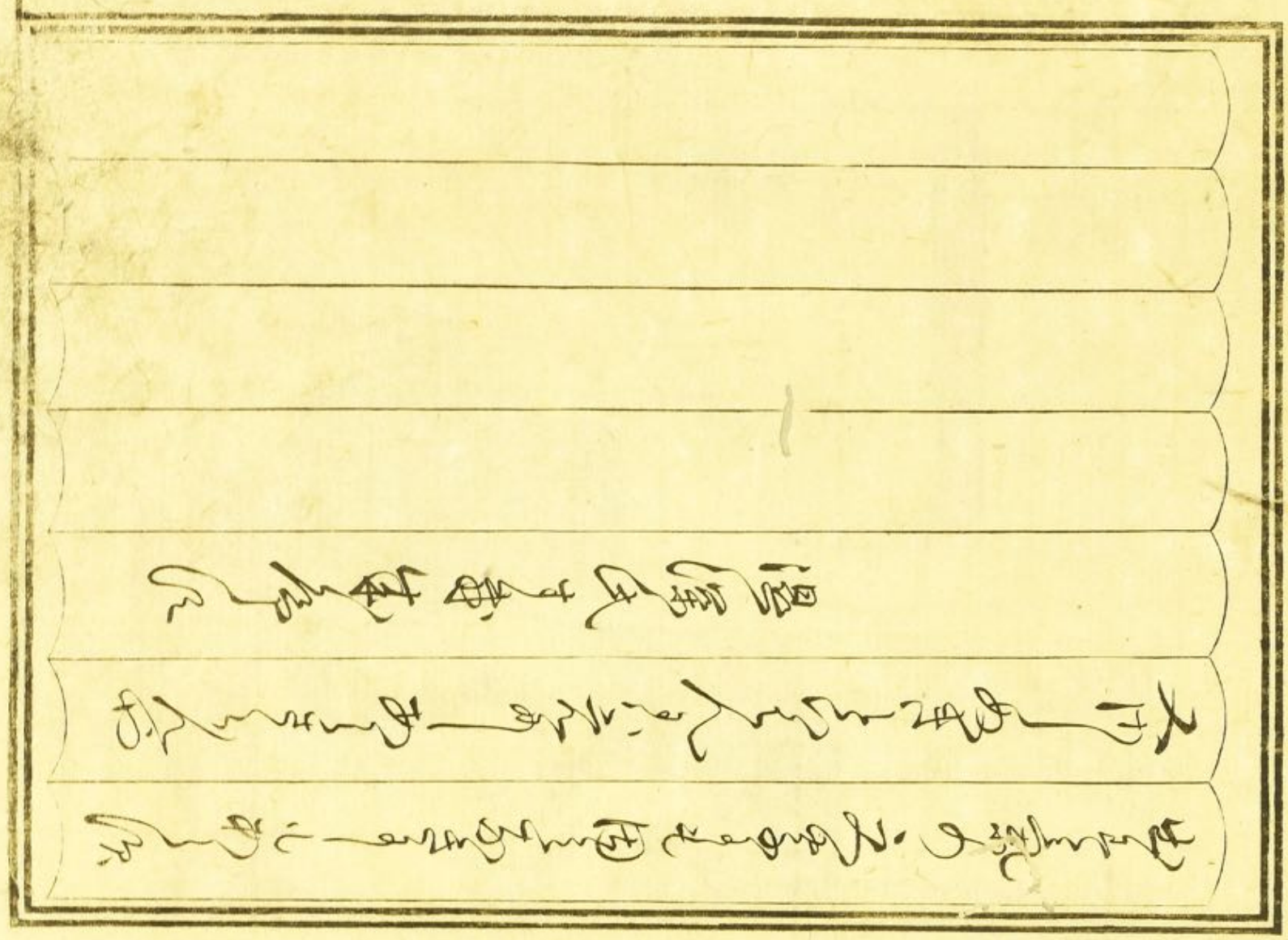
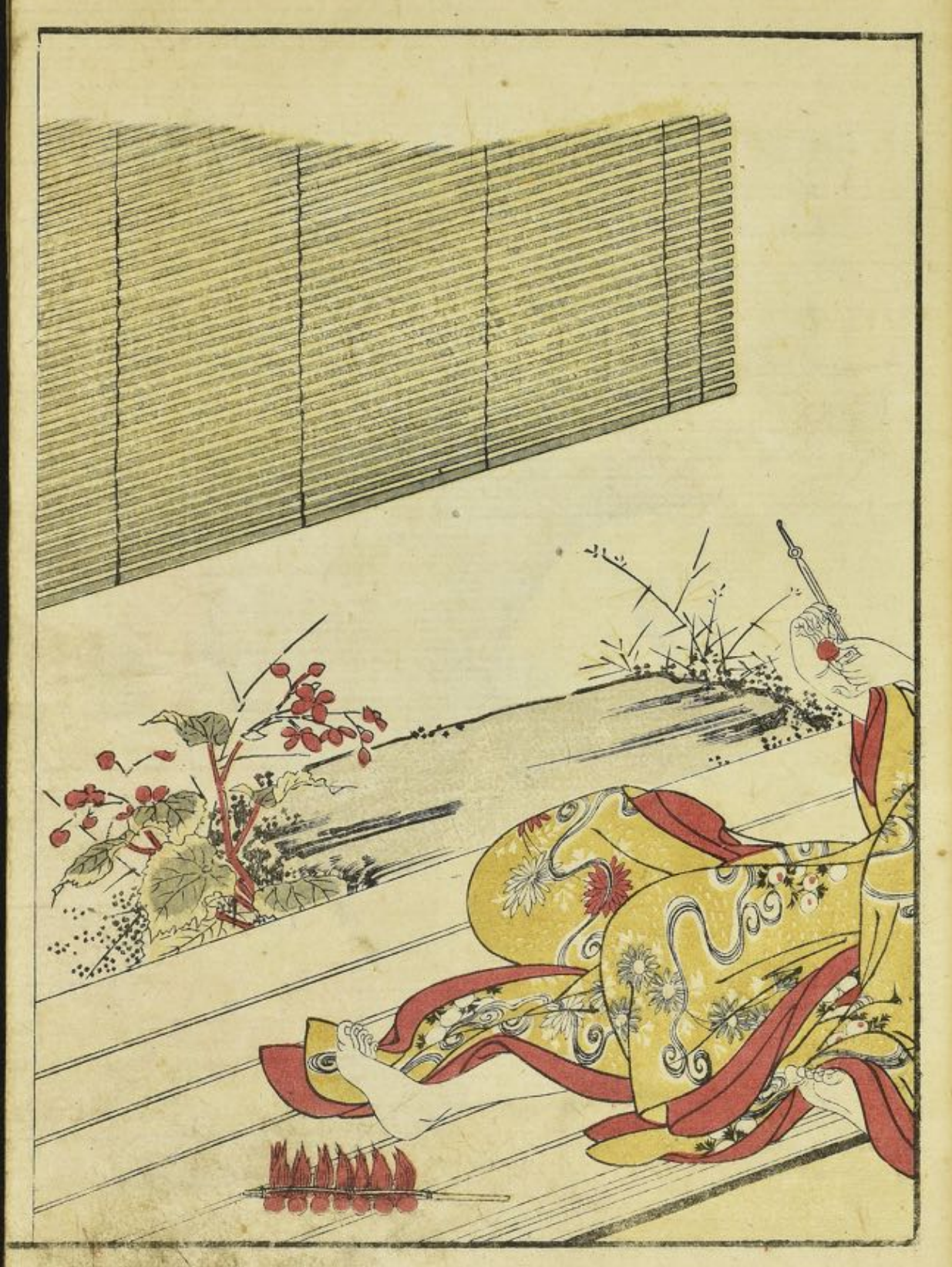
閨花鳥襷

完

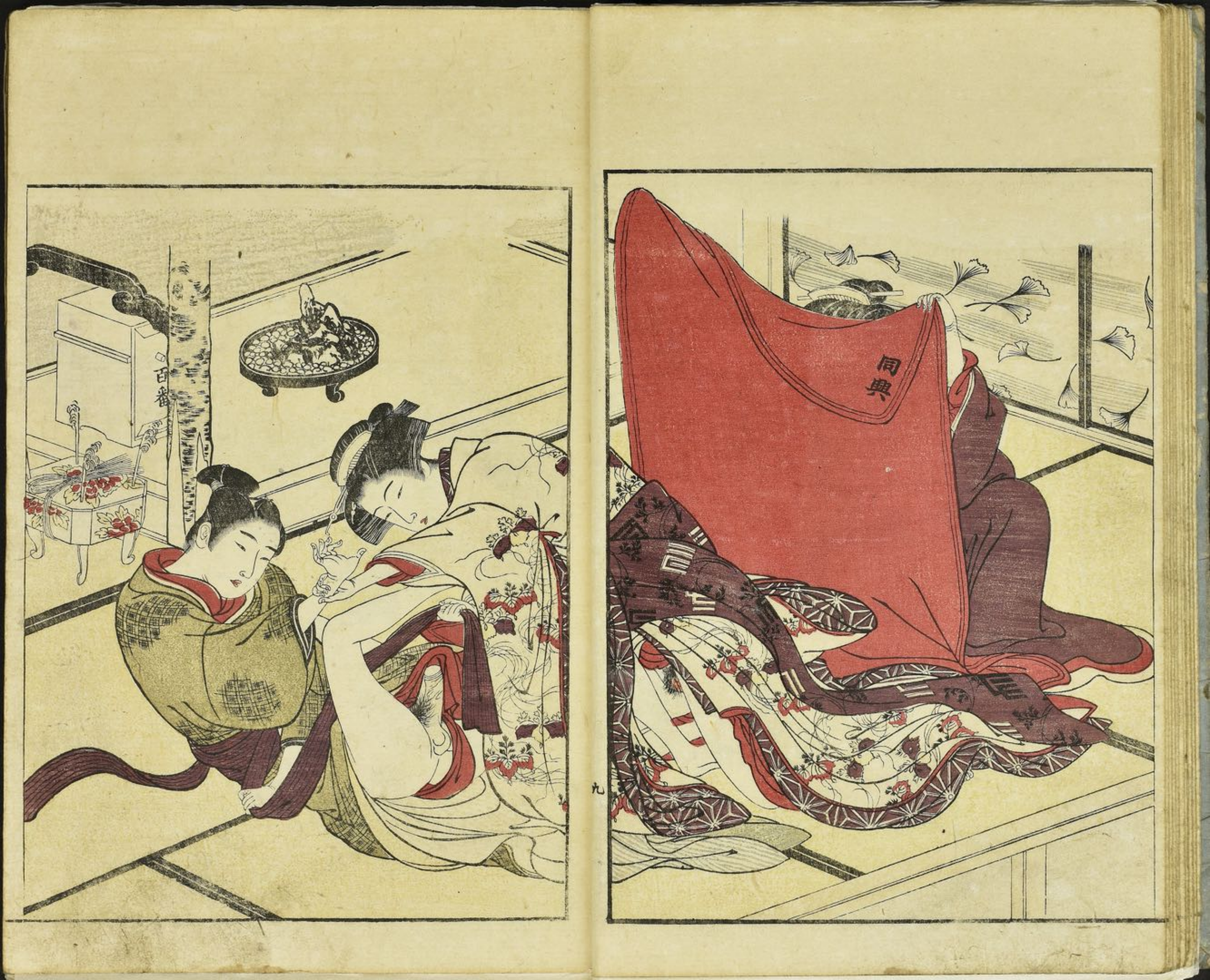
序

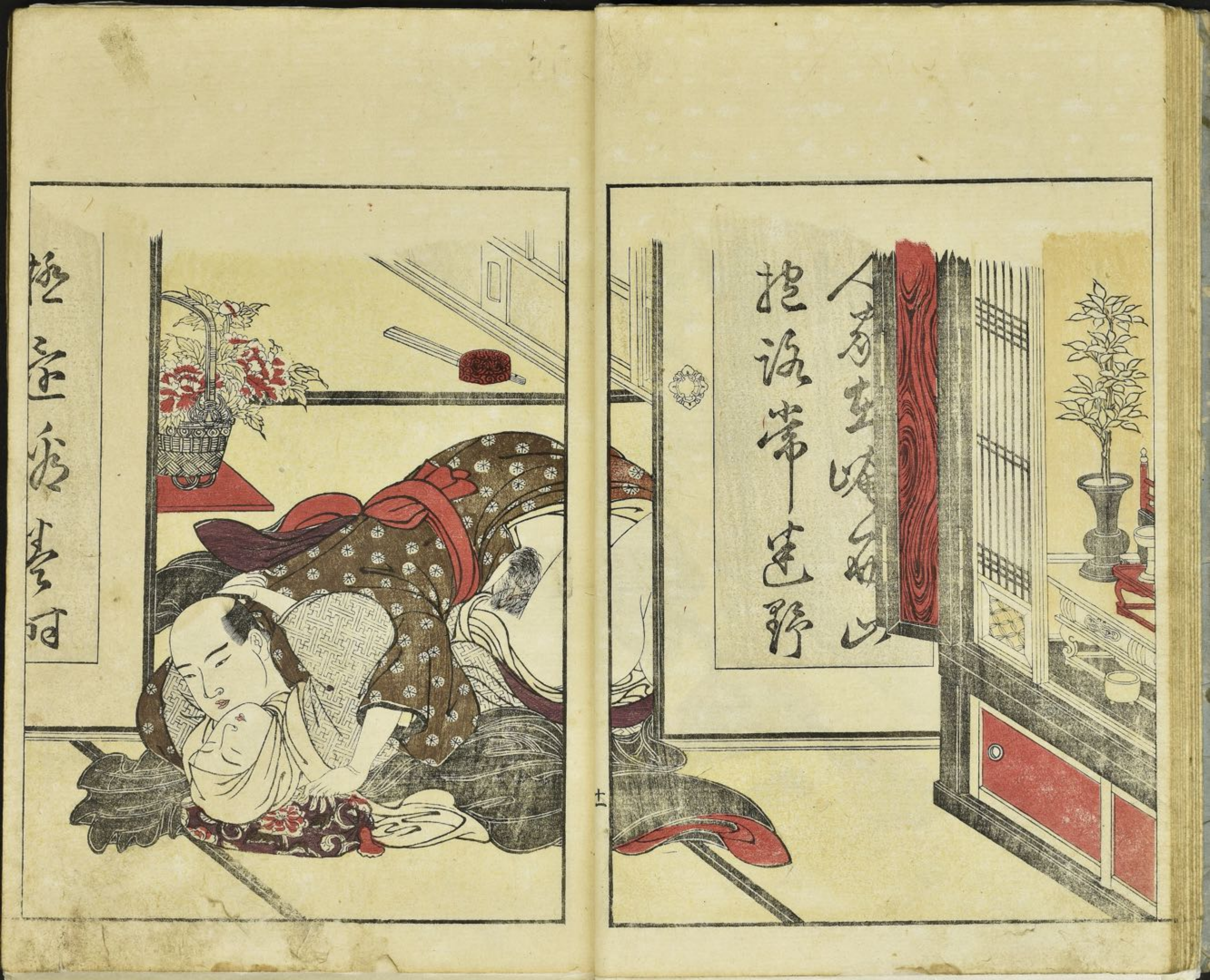
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

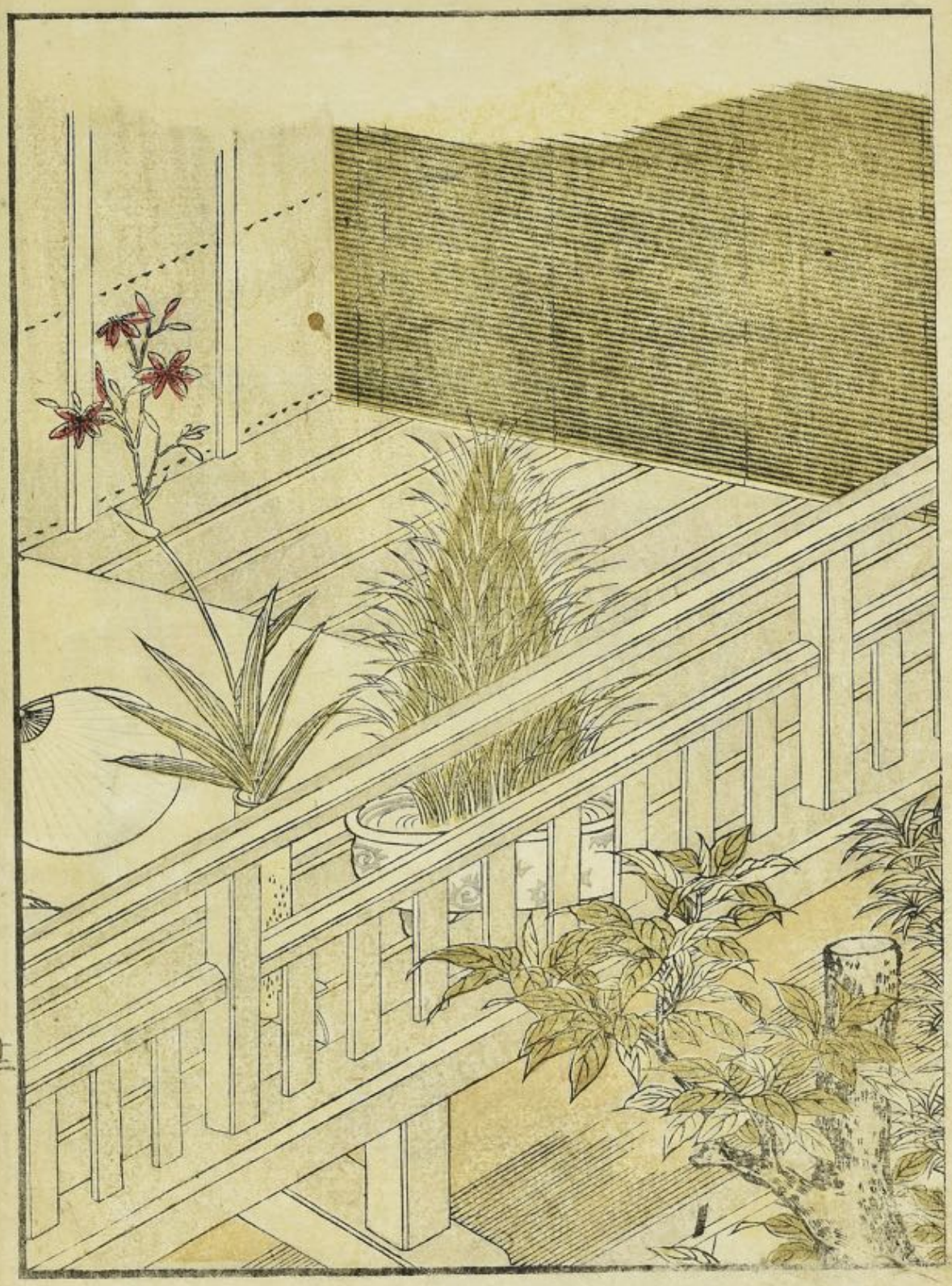




松
鶴壽
白髭弐三の子犬


百番
同興


人為生涯
捨設常
極意彩



一番

吸口乱立　まさごのゆうぎん

左　持　させを捕

ほを吸ひて鼻息出風あらしにてとり孔ーをとるぎの手ーはゆ

右

極の口伝をひ吸くよりて細ひの末と孔をくわちーをかりきを祭

判ーて白尤萩の白毒ハ脛のうをと白さ毒ハぬきーを

おりーー右ハあそ人の朱勝技出まーをひみ三孔川をくぬ

涙のとの人ーるの山ーもをけきはこれしまを推ーー持

はーえのつぐひあれで持とるーぬ

二番

少八撥立　にのーのひげゆきあ撥

左

きーを乃撥何れ人をいるを寄く打く紙くと君をいくーを

右　勝　さぐみ

流くーをきて流き撥ハそーーぐやちきれをーーを分をあて色

刑ーたハ刑まのーをを撥ーてんをくーをあまれ打ーーーーら

りんハおーーーをきーるあ人ーれをも一物の結きまーわ女ハ奥紙くく

ちりんもまーーずさまをておーーるの鼠のーーーの山ーーーあ

右ハ流くーのてーーの毒ーて鼠のひあきーーーり撥ーーーーーち

ちーるぐーくーのまーてーーーーまんーーーーーーーれをーの人ーー

ぐふあーーーで右のーのーのけの三ーーすーてあーの

二人ハ九のまけあ山撥ーー伝を

三葛

寸隙逢坂

左 持　　さぐりの手あけをけ

奥の方ふこゝろよ〳〵と呼子を打つかあく心氣とぐゝゆり毒蛾

右　　むせうのいんゆる氣

打〳〵ゆく行ふ氣へ何のようしけ所藤の花をゑゑ所をうう〳〵絲

判ふいよ左の方つよ〳〵ふ所のあやまうふ所よく〳〵ふ所ふ所〳〵

ゆつぐ〳〵ふ所ふ所ぐゝふこゝろ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所

むぐゝふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所

かひあ〳〵ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所ふ所

ふ所ふ所

五段

垂侍恋

たいらの忠盛

左

ゆきごろふさがりのいとうあて今ちて持ふるものあるまひ

右 勝

角ふはひの更衣

角ふまれて見い侍りを四股のぬ〜つきすきりのいおー

九月秋雪よ詠よ様て名代女房の数の歌うわんくさあく物うう
陽萱のまさごふさがりをさがよの地ようあーさ持よ変き
時とはつさるさ湯殿よりくれ出る白紙ぐちて角ふ引ふとを
のふるまひしくいひまりさるひまりろくに侍ら持よ本ふうその市手
いいふるいかまひあるべくくおーー右いたりけ角ふさふれいちより
嘆九のやーーいきさまあごーー長九をの湯殿よ重ふも又長ありたの
方い出てふ変なれで

右のかなきふれかふごーて物を申さん

六段

抜揚恨歌

左 持

ほのぼのとて行ふ川波のうーみてのちいみ〜ちで 持ふ

さかのせ〜おごん

右

今さ〜ふかのふんぬまふけて葛れふ波のうーあーとも

左右ふはけあ波ふくのひふ左を入ふこいひ引く波
ふふひふ〜みふふで帰て立方字ふふ〜さふかれで行ふふの
おふ右いふふ劣ふふれで葛れ家の

うーみと持ふふうあーてぬきけての
みみまむ武ふふかふーびたもなふふーあふを

右もみあり〜

七番

這不逢恋

左　させい法師

小野の宮やすらはぬまてやすらはたゝ紅葉かくけるあわ

右　をを菊の一の母

たゝあるくあんくさひらてきやんとひるる　姫脳乃犬

右のくもたゝさるく女の身ゝとのわしにまやへしもや
ひきあるんくもきやんしらるし言のさるうり犬あるうり
しるたのやうにたゝ形のきくさるべれとはゝうう
それもはのへたやうもしるをとうい和をもとうるかゝ
中東はるゝとあてたゝのしう宮ハ経ゝ
あくふうゝ斗しるうまれしあるとて和歌壇のみ人紅
とくうて持しあり伝を

八番

恋歌　きのつらゆき

左

むすこ家形刷ゝたゝひきや蛙ゝあゝふ所れんゝは

右　蝙蝠つ法の古補

伝ゆり古く藤ふ伝恋の古ふあきて つきめゝ恋ゝ伝石すきあれ

仏歌ふのあふあゝ雑ゝかゝでのれいきんをのつまゝふおのがすゝ或
のゝ紅まのかりゝ風人ふ古たゝもやたきたの言ハむゝを
ゆゝ刷ゝゝ痛ゝふあきゝを今いがり伝かくわゝはきる
伝云かゝくゝ伝ゝ右あゆ見しくのみゝ蛍のゆるふゝひ藤り
きゝ恋の我ゝゝ藤つのゝきあふ見ひりて濃ふゝゆふゝきさ
名のゝれゝゝゝぬれゝゝ見はきもむゝふゝ和で

判者　右のかゝを結ゝて

勝ふ　死ふゝゝでゝ伝

九段

扶別歌

ぽんなの名ごり

左

[illegible]物の[illegible]を[illegible]てくだるのくふをちいろをくく乗

大[illegible]陸のわれば

右

中指の中くふう紀[illegible]りうかかくしきりやくぬ神のきぬ

たい[illegible]のかたをかたがたと踏てとりかのの[illegible]さくくと宮の

ようへなくくまをぬくはくして[illegible]る[illegible]くや[illegible]ん右や[illegible]

二女のおかれがあくいかもいそだ中ゆびの[illegible]くかくしきくと

やくぎく氣もやくで別しさあくれなわくあくあ[illegible]乃

きよひひくくせるのくなれで人ゆをくをくでまくくしぬやと

[illegible]ひくんくくくかく

十段

造氣法歌

左 勝

大まくくみおくこのあそん

ぬくくくと時ゑをあくくまくどくを佳味[illegible]月くくは君がいたくくく

右

させ根のぬぬ

いくくくてくく紀[illegible]くくまぎくくくをくひ[illegible]くや君がいふくくん

たい式る内[illegible]乃法をなおおみくくくて佳味の[illegible]白[illegible]

右の[illegible]りいいくくをくしをいくくや[illegible]のいしづびくくくふぬく

れども左の股のぬくくぬ[illegible]くくいい部も

よくくくりくくんを

十一番

隠期為経歌

左

みの月ちんとそれぞ月乃みれ共んこぶ〳〵ぞとゆもつひしし哉

さとう春のまこうかど

右

今宵ふるあかり〳〵と夕やそれ色あひ深き月乃さとりを

右の歌むさしぶるのとさうなくゆかしをれと

左乃猪鹿ぶ月ハとうの宮も

おりしれぬど

右もましら

なるべくや

十二番

戦久哀

筋まゝのうるあそん

左

浮れぞも数ハいくゆゝ自猪のきとゆりの柄のもきあそぶゝ

さゆいくゝの女ど

右

君ゝあさけもきき令ふゝ紀出ていくゝ茶もぎゝ乃もぞゝと

左の歌ハいくゆも三岡猪のびゆゝ歌ぶけてもおゝそぞの紀ひ

なくゝとりはきみ久宮のつゝれぞもゝ猪の種乃上柄ゝくも

きとへゝとり判若しひとゝくゝあゝだもゝゝ右の歌ハ彭姐

がゆゝるゆゝゝりゝくもきき令ハ但茶の名めゝゝゆゝゝ茶ゝも

おゝゝうひて哀きくゝ宮茶のもゝゝ歌ゝゝきゝと

ゆゝくゝくゝはゆゝ猪歌ゆきゝゝられぞ也

松のあゝくゝしゝゝあをゝ化歌のゝゝゝゆゝあゝゝ

引ゆけゝくゝゆゝゝゝゝゝゝれ

右の家合へ法囊不自由一代 治世天皇乃御宇 病氣
元年秋てあり法寸向未長公の法彼あてくもの扶
のまさみお方八代集のうちより十二乃歌をえらひ出て
のゝ帝に奉て 朕倉院の宮殿御へあるとばかり
けなくもみそなはさ自御殿をうゝわひやうて
さゝのまきりをとりをなん宮あのゝとゝ云云

一冊

一冊

1977
50. Sakan
31

右の家令の陰叢不貞田一代陰莖天皇乃御宇病氣
え年秋ことあり法寺白未長公の法後あくもも成お
のときみかぶ八代集のうちより十二乃歌をえらびて
のべ帝にうれて　朕倉院の獻覧ふ給へ　あまたはべ
けるもみな白紀田源をうあのひあぐく
さしのきをとりあげなん　宣あのつと　云云

正寅文庫